

平成 30 年度 まち・ひと・しごと創生総合戦略
事業評価

①「学生が輝く“まち”」再生プロジェクト	
事業期間	平成 28 年度～平成 30 年度（3 年間）
内 容	<p>急激に高齢化が進むみずき野地区に、学生を呼び込み、「学生が輝く“まち”」として再生し、第 2 のふるさととして永続的な人の流れを創出する事業。</p> <p>学生には、市が借り上げた空き家（シェアハウス）に移り住んでいただき、地域での生活・活動を通じて地区への愛着を持っていただき、つくばエクスプレスにより東京圏との近接性を強みに持つ本市を「第 2 のふるさと」として選択いただくことにつなげ、将来に向けて永続的な人の流れを創出することを目指す。</p> <p>[これまでの実施内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●平成 30 年度 ○町内会事業として、夏祭りの準備、運営補助や子ども寺子屋（夏季限定）、郷州小学校陸上指導など、様々な活動に参加。 ○学生独自の地域貢献の取組として、学生が高齢世帯等で庭の芝刈りに困っている方を支援する事業「芝刈隊」を実施。 ○サタデー学習に登録して子どもたちの学習支援（指導補助、学生企画理科実験教室）を行った。  <ul style="list-style-type: none"> ○水泳教室指導補助（市生涯学習事業）や守谷ハーフマラソンにボランティアとして参加。

○中学生の部活動に指導助手（バレーボール部、バスケットボール部）として参加。



○みずき野地内商業施設跡地の今後の利活用について、学生目線での提言を取りまとめ、シェアハウス事業2年間の総括と合わせて報告会を実施。



事業費
(地方創生推進交付金)
※交付金対象 2 分の 1

- ・建物借り上げ費（3 棟，12 ヶ月） 3,394,040 円
- ・材料費（学生活動経費） 13,520 円

総事業費 3,407,560 円（交付金対象 1,703,780 円）

KPI（重要業績指標）

平成 30 年度(目標値)

平成 30 年度(実績値)

当該地区に転入した学生
の人数（3 年間合計）

9 人
(延べ人数 27 人)

8 人
(延べ人数 25 人)

今後(令和元年度)
の方針

これまでの事業(約2年半)において、学生が地域の行事等に積極的に参加し交流してきたことで、高齢者の活動が活発になり、小学生からも「勉強が分かりやすく楽しくなった」との声が聞けるなど、地域の活性化に成果が見られた。次年度は北守谷地区へも展開して事業の拡大を図り、更なる地域活性化に取り組んでいく

(参考) 令和元(平成 31)年度事業「飛び込む・関わる・創る」学生シェアハウス事業

<p>内 容・予 算 額 (ふるさと納税)</p>	<p>みずき野地区の2棟に加え，北守谷地区（薬師台）に新規3棟を追加し，市内の2地区，計5棟で展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物借り上げ費（5棟，12ヶ月） 5,070,510円 ・材料費（学生活動経費） 300,000円 <p>総事業費 5,370,510円</p> <p>[令和元（平成31）年度の活動]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き，みずき野町内会事業への参加やサタデー学習の指導補助を行う。（子ども寺子屋を通年へ，サタデー学習は3名から5名へ，など活動を拡大） ・中学生の部活動に指導助手（ハンドボール部を追加）として参加。 ・国民体育大会（ハンドボール）やグリーンインフラ事業など市事業への関わり方を拡大。 今後は，守谷ハーフマラソンのボランティアやまちづくりアンケートの取りまとめ補助，選挙の立会人なども予定している。 ・北守谷まちづくり協議会の活動の一つとして「ぶらぶら亭」「くわがた亭」の運営，ながら防犯への参加。
<p>KPI（重要業績指標）</p>	<p>令和元（平成31）年度(目標値)</p>
<p>学生の人数（単年度）</p>	<p>15人（5棟）</p>

②「農が繋ぐ“まち”地域資源連携推進」プロジェクト

事業期間	平成 29 年度～令和元(平成 31)年度（3 年間）
内 容	<p>農業を切り口として、ポテンシャルの高い地域資源（農産物・自然・文化）を繋げ生かす活動を通して、加工業・飲食業・観光事業の各分野が自主的、かつ主体的に地域産業を活性化させる環境を整えるもの。</p> <p>地域資源の有効活用と持続的な地域活性化を目的とした「(一社)もりや循環型農食健協議会」と市が連携して実施するもので、将来的には、協議会が自立して地域産業と連携した活動を実施していく。</p> <p>同時に、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）や茨城大学農学部等の協力を得て、先進的な都市近郊農業モデル（アグリアカデミア※）を学び実証できる環境を構築していく。</p> <p>※将来の新たな農業モデルを経験，習得できる場（圃場での農業実習）</p> <p>[これまでの実施内容]</p> <ul style="list-style-type: none">●平成 30 年度○グリーンツーリズム事業（都市農村交流）<ul style="list-style-type: none">・開催回数：8 回（田植え，夏野菜収穫，水稻収穫等）・参加者数：236 名  <p>(田植え体験の様子)</p>

- ・ 広告掲載：3回（新そば祭，スイーツ祭，酪農祭）



（イベントの開催案内_TX 中吊り広告）

- ・ ガイドマップ作成
40,000部（市内全戸配布，掲載店，市役所等に設置）

【表面】



【裏面】



（市内のグルメガイドマップ）

- ・ イメージ映像制作
8本（YouTube，Facebook 等で配信）



（市内の各店舗をPR）

○直販販促事業

- ・開催場所：守谷駅西口側広場，さくら坂 VIVACE，みずき野集会所，有楽町駅前広場等
- ・開催回数 49 回



(ふるさ都市もりや朝市の開催案内)



(ふるさ都市もりや朝市の様子)

○商品・メニュー開発

- ・開発商品：のむヨーグルトのバリエーションの増加，牛スジ肉の塩麴漬け，そば焼酎，ほうれん草パスタ



(のむヨーグルトいちご味， のむヨーグルトにんじん味)



(牛スジ肉の塩麴漬け)



(そば焼酎)



(ほうれん草パスタ)

- ・キッチンカーによる開発商品等の販売



(キッチンカー)

- ・地産ブックによる開発した商品等のPR
10,000部(掲載店, 駅や市役所等に設置)

【表面】



【裏面】



- ・ブランドブックによる生産者のPR
10,000部(掲載店, 駅や市役所等に設置)



MORIYA
BRAND BOOK

守谷ブランドブック
守谷の農産物の3つの物語をご紹介



	<p>○都市近郊農業モデルの構築（アグリアカデミア）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修者数：2名 ・圃場：板戸井地内等  <p style="text-align: center;">（アカデミアの圃場）</p>
<p style="text-align: center;">事業費 （地方創生推進交付金） ※交付金対象 2分の1</p>	<p>○グリーンツーリズム事業（都市農村交流）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンツーリズムマップ作成・配布費 980,700円 ・イメージ映像制作費 1,200,000円 ・広告費 969,960円 ・企業連携イベント開催費 108,000円 <p>○直販販促事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都内への出店費 185,170円 ・テント・テーブル等購入費 189,170円 <p>○商品・メニュー開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品開発費 1,982,400円 ・機能性分析によるブランド向上研究費 2,400,000円 （茨城大学連携） ・ブランドブック作成 999,999円 ・地産地品・商品の認定と冊子作成 1,999,999円 ・キッチンカーリース費 1,500,000円 <p>○都市近郊農業モデルの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アグリアカデミアの創設準備費 4,160,000円 （賃料 1,860,000円, 備品費 2,300,000円） ・研修生住宅賃料 621,780円 ・体験農業農園の設置費 1,126,063円 （借上げ料 142,373円, 環境整備 983,690円） <p style="text-align: center;">総事業費 18,423,241円（交付金対象 9,211,620円）</p>

KPI (重要業績指標)	平成 30 年度(目標値)	令和元(平成 31)年度(目標値)
	平成 30 年度(実績値)	
イベント等における直販の売り上げ	14,300 千円	15,300 千円
	17,748 千円	
都市農村交流人口 (グリーンツーリズム参加者数)	230 人	285 人
	236 人	
今後(令和元年度)の方針	<p>推進交付金の実施計画に基づき継続して各事業を実施する。取組の自走を図るため、印刷物の作成・配布等によりPR活動を強化し、本事業の活動や商品の更なる周知を図るとともに、開発した商品の販売を促進する。</p> <p>また、引き続き継続的な直売を実施し、駅前等での直売のイメージを強固なものとする。</p>	

(参考) 令和元(平成 31)年度事業「農が繋ぐ“まち”地域資源連携推進」プロジェクト

<p>内容・予算額 (地方創生推進交付金) ※交付金対象 2 分の 1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○グリーンツーリズム事業 (都市農村交流) <ul style="list-style-type: none"> ・グリーンツーリズムマップ作成・配布費 1,000,000 円 ・イメージ映像制作費 1,000,000 円 ・広告費 1,000,000 円 ・企業連携イベント開催費 500,000 円 ○直販販促事業 0 円 ○商品・メニュー開発 <ul style="list-style-type: none"> ・商品開発費 (ヨーグルト活用商品) 1,500,000 円 ・ヨーグルトの機能性分析によるブランド向上研究費 (茨城大学) 2,000,000 円 ・ブランドブック (冊子) 作成費 50,000 円 ・地産地品・商品の認定と冊子作成 2,000,000 円 ・キッチンカーリース費 1,500,000 円 ○都市近郊農業モデルの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・アグリアカデミアの創設運営費 4,300,000 円 (賃料 3,600,000 円, ネットワーク費 700,000 円) ・先進的農法の実証 (実証費用・講師謝金) 500,000 円 ・研修生住宅賃料 1,020,000 円 ・体験農業農園の設置費 1,900,000 円 (借上げ料 900,000 円, 環境整備 1,000,000 円) <p>総事業費 18,970,000 円 (交付金対象 9,485,000 円)</p>
KPI (重要業績指標)	令和元(平成 31)年度(目標値)
イベント等における直販の売り上げ	15,300 千円
都市農村交流人口 (グリーンツーリズム参加者数)	285 人

③「野鳥の森散策路と鳥のみち」協働推進プロジェクト

事業期間	平成 29 年度～令和元(平成 31)年度（3 年間）
内 容	<p>守谷市観光協会（市民ボランティア団体）が作り上げてきた地域資源「守谷野鳥のみち（旧守谷野鳥の森散策路と鳥のみち）」を活用して、将来の地方への持続的な人の流れ（交流人口増加から移住促進へ）やガイドを創出し、持続的な経済効果をもたらす環境を整える。</p> <p>具体的には、行政、企業、市民等の協働作業により、鳥のみち（丸太道）の安全性や快適性を向上させ、つくばエクスプレス等の民間企業と連携して自然体験ツアーを開催する等、守谷の魅力を広域的に発信していく。</p> <p>[具体事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イメージアップ・PR 事業 ・つくばエクスプレスと連携した自然体験ツアー ・鳥のみち（木道）の環境整備（更新） ・蛍生息環境の整備 ・ガイド育成の講習会等の開催 <p>[これまでの活動内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ●平成 30 年度 <div data-bbox="634 1041 1395 1608" data-label="Image"> </div> <p>(守谷野鳥のみち上空 更新された木道 全長 730m)</p>



(守谷野鳥のみち 更新された木道 山王下口付近)



(TX中吊り広告による外部PR)
【協力:首都圏新都市鉄道(株)】



('19.3.16 TX ウォーキングツアーの様子 参加者約 670 名)



(広報もりや1/10号(特集)による市民周知)



(ガイド育成講習会の様子)

事業費 (地方創生推進交付金) ※交付金対象 2 分の 1	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージ映像作成費(上空撮影) 75,600 円 ・ホームページ運営費 25,661 円 ・木道の環境整備(防腐塗装, 消耗品等) 153,119 円 ・自然体験ツアー事業費 56,680 円 ・蛍生息環境整備費 50,000 円 ・ガイド育成研修会(研修会費,ガイドベスト等)167,858 円 <p style="text-align: center;">総事業費 528,918 円 (交付金対象 264,458 円)</p>	
KPI (重要業績指標)	平成 30 年度(目標値)	令和元(平成 31)年度(目標値)
	平成 30 年度(実績値)	
「野鳥の森散策路と鳥のみち」交流人口(ツアー参加者数)	400 人 670 人	500 人 (述べ人数 1,000 人)
雇用創出数(「野鳥の森散策路と鳥のみち」散策ガイド)	3 人 3 人	3 人 (述べ人数 7 人)
今後(令和元年度)の方針	野鳥のみち(木道)の利用環境が整備されつつあり, 実施計画に基づき, 継続して交流人口の拡大を図っていく。 首都圏新都市鉄道(株)等の民間企業と連携し, 守谷の魅力である「守谷野鳥のみち」を市内外に PR するとともに, ウォーキングツアーや観察会, 小学生等を対象とする環境学習等を実施する。	

(参考) 令和元(平成 31)年度事業「野鳥の森散策路と鳥のみち」協働推進プロジェクト	
内容・予算額 (地方創生推進交付金) ※交付金対象 2 分の 1	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージアップ・PR費(ガイドマップ更新) 350,000 円 ・自然体験ツアー事業費(TX 広告費等) 550,000 円 ・野鳥のみち更新費(木道防腐材費等) 235,000 円 ・蛍生息環境整備費(水質検査費等) 150,000 円 ・自然環境学習, 観察会開催費 50,000 円 ・ガイド育成研修費 200,000 円 <p style="text-align: center;">総事業費 1,535,000 円 (交付金対象 767,500 円)</p>
KPI (重要業績指標)	令和元(平成 31)年度(目標値)
「野鳥の森散策路と鳥のみち」交流人口(ツアー参加者数)	500 人 (述べ人数 1,000 人)
雇用創出数(「野鳥の森散策路と鳥のみち」散策ガイド)	3 人 (述べ人数 7 人)